PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number:

61-133933

(43) Date of publication of application: 21.06.1986

(51) Int. CI.

G03B 17/12

(21) Application number : 59-256872

(71) Applicant: KONISHIROKU PHOTO IND CO LTD

(22) Date of filing:

04. 12. 1984

(72) Inventor: YAMADA MINORU

ITO EIJI

MIYAMA KENJI

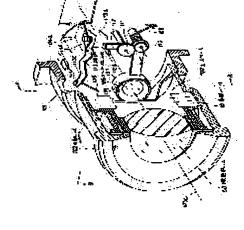
SAWAMURA MASATAKA

(54) TWO FOCUS CAMERA

(57) Abstract:

PURPOSE: To simplify a power transfer mechanism, and to transfer the power efficiently by placing a lens driving motor in the outside of a rear photographing optical path of a front lens unit, and in a gap formed by an arrangement of a rear lens unit.

CONSTITUTION: When a movable lens unit 102 is brought to a collapsible barrel against a lens barrel base part 101 fixed to the front of a camera body, an abutting piece 113c of the tip of a lever 113 is pressed by a receiving plate 121 of a base part 101, the lever 113 is turned counterclockwise, and by turning gears 111, 110 through levers B113b, A112, a conversion lens 106 is rotated counterclockwise, moved from an optical path 103a of a photographing use main lens 50, and withdrawn into a space 102a in the unit 102. In this way, a photographing optical system is switched to a short focus system, and occupies a



rear gap of a rear lens unit 10, but a dead space is left. Accordingly, a lens driving motor can be placed in the dead space.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]
[Patent number]
[Date of registration]
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998, 2003 Japan Patent Office

19日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

@ 公開特許公報(A) 昭61-133933

Solnt Cl.

識別記号

厅内整理番号

母公開 昭和61年(1986)6月21日

G 03 B 17/12

7610-2H

審査請求 未請求 発明の数 1 (全6頁)

49発明の名称

2焦点カメラ

頭 昭59-256872 2)特

願 昭59(1984)12月4日 29出

79発明 Ш

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

73発 明 者 治

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

伊発 明

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内

Ш 老 瀑 村 79発 明

小西六写真工業株式会 70出 願 人

孝

八王子市石川町2970番地 小西六写真工業株式会社内 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

社

弁理士 野田 義親

1. 発明の名称

2 焦点カノラ

特許請求の範囲

- (1) 後方シンズニニットが光路に出入して2 無点 光学系を形成する2線点カメラにおいて、動方レ ンズユニットの後方撮影光路外で、前記後方レン ズユニットの配置によって形成されるギャップを 利用して、レンズ駆動用モータを配置したことを 特徴とする2歳点カメラの
- (2) 前記モータの軸を撮影光軸に平行した方向に 配置したことを特徴とする特許請求の範囲第1項 配戯の2 焦点カメラ。
- 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明は、焦点調節のための駆動用モータをレ ンズ鏡 房内に配催した 2 焦点カメラに関するもの である。

[従来の技術]

共通の光学系で無点距離を長・短2段階に切換

えられる2焦点カメラの撮影光学系は、一般に撮 影用主レンズとコンパージョンレンズとから成り、 その双方を組合せることにより長焦点距離をまた コンパージョンレンズを外して前記撮影用主レン ズのみを使用することにより短点点距離を得るよ うに構成されている。

この撮影光学系の効果の操作は、前述した撮影 用主レンズとコンパーションレンズを共に収容し た可動レンズユニットと呼ばれるレンズ鏡周を、 カメラ本体から引き出したりあるいは沈嗣させた りする動作によって行なわれるようになっている のが普通である。

かかる2様点カメラに対して自動焦点調節装置 を組込む場合、前述した可動レンズユニットには 前記提影用主レンズを合焦位置に作動し制御する ための各部材が組込まれることになるが、それら の各部材を駆動する動力源たるモータがカメラ本 体内に配置されていることが多いため、動力の伝 連機構が撮影用主レンズの移動に追随して機能す るものであることが要件となって構造が複雑化し、

特開昭61-133933(2)

また伝達距離も長くなって作動効率の低下が避け られない。

[発明が解決しようとする問題点]

本発明は、2 焦点カメラにおける合焦操作のための動力原たるモータを可動レンズユニット内に 配設することを可能として、動力の伝達機構の単 純化と効率化を図ることを目的としたものである。 [問題点を解決するための手段]

本発明は、可動レンズユニットの鏡腸内においてコンパージョンレンズユニットが占める断面空間の残されたスペース内に前記モータを収容し、それによって放モータを爆影用主レンズに対し近接した一定の距離に配置するよう構成するもので、それは、後方レンズユニットが光路に出入して2 漁点光学系を形成する2 漁点カメラにおいて、前方レンズユニットの配置によって形成されるギャップを利用して、レンズ駆動用モータを配置したことを特徴とする2 漁点カメラによって達成される。(実施例)

110 は前記支持部材 107 にその回動中心を一致して取付けた歯車で、同じく前記取付基板に軸着された別の歯車 111 と歯合している。

112 は前記機車 1.11 にその回動中心を一致して 一体に取付けたレバーAでその左側端面は断面が 円弧状に形成されている。

113 は前記可動レンズユニット 102 の内周面に 設けた突起 104a に軸着した横杆で振りばね 114 に よって反時計方向に付勢されているが鼓扱りばね 114 は前記換りばね 108 に比し著しくその付勢力 を小さく設定されているので前記横杆 113 は、それと一体に形成した軸座 113a に設けたレバーB113b が前記レバーA112 に対して直交する形で当接する ことにより図示位優にて停止している。なお前記 レバー B113b の右側端面も前記レバー A112 同様 にその断面が円弧状に形成されていて強力に押圧 した場合でも作動が円滑かつ正確に伝達されるようになっている。 本発明の1 実施例を第1 図ないし第4 図に示す。
101 はカメラ本体(図示せず)の前面に固定された鏡刷基部、102 は前配鏡屑基部 101 に内嵌して前後に層動して図示の如く引き出しあるいはその反対に沈銅出来るよう取付けられた可動レンズニュトである。

50 は撮影用主レンズで電磁ユニット10 およびその前方に配設した合無装置と共に撮影光学系の前方レンズユニットを形成し、カメラ本体の制御装置によって第光および焦点調節の制御を受けるようになっている。

105 は前記機形用主レンズ50の光路を制限する 遠光枠、106 は前記電磁ユニット10 と設遮光枠105 の間に配設されたコンバージョンレンズで、その 光軸は前記機影用主レンズ50の光軸103aの延長線 上に一致するよう量かれている。

107 は前記コンパーションレンズ 106 を保持する支持部材で、前記電磁ユニット10の取付基板(図示せず)に軸着され、扱りばね 108 によって時計方向に付勢された状態にあるが、同じく前記

かくして、これらの各部材と前記コンパージョンレンズ 106 は前述した前方レンズユニットに対して撮影光学系における後方レンズユニットを形成している。

かかる状態で撮影光学系は長焦点系を構成しているが、前記可動レンズユニット 102 をカメラ本体の前面に固定された前記鏡厨基部 101 に対して洗りで、前記域杆 113 の先端に取付けた追接片113cがカメラ本体の前面に固定された鏡房基部 101 にある受け板 121 によって押圧されるので、前記域杆 113 を反時計方向に回動し前記レバー B 113b、レバー A112 を介して歯車 111,110 を回動することにより、前記コンパージョンレンズ 106 を反時計方向に大きく回転して前記撮影用主レンズ50の光路103bより移動して可動レンズユニット 102 内のスペース102a 内に退避させる。

かくして撮影用光学系は短焦点系に切換えられることとなり、このように焦点距離の切換に当って、後方レンズユニットは前記電磁ユニット10の 後方のギャップすなわち断面空間をその円周上の 選挙にわたって占有することとなるが、その反対 個の円周上に使用されないデッドスペース102b を 残している。よって本発明においては数デッドス ペース102b に焦点調節装置の動力源たるレンズ駆 動用のモータ60 を配置することを提案するもので ある。

すなわち前記デッドスペース1026の具体的位置 は第2回および第3回に示す如く、前記電磁ニニット10と遮光や 105 の間において撮影用主レンズ 50 が包括する光路 1036 を囲むほぼ環状のスペースの一部であって、前記後方レンズユニットと同一断面上の空間である。

前記デッドスペース102bは電磁ユニット10を介して合無装置に至近の位置にあり、設デッドスペース102bにモータ60を配置することによりそれ等の接続が容易となり、さらに可動レンズユニット102として合無装置と一体で移動されるので接続構造も単純となり、自動無点調節装置の組込み上版る有利な構造となる。

たお本発明によって可動レンズユニット 102 内

たお、放ストゥブ爪24はフランジ部21を貫通した 電磁ニニット10 の前記規制ピン11 の保止作用を受 け時計方向への回転が阻止されている。

一方、前配円筒部2.6の周面には3本の直進構27を等間隔にて光軸方向に設け、その内周に摺動可能に嵌合した撮影用主レンズ50のガイドピン51をそれぞれ嵌入して鼓機影用主レンズ50を光軸方向に返退出来るよう保持している。

40 は前配レンズガイド20 の円筒部26の外周に回動自在に嵌合するレンズ駆動部材で、その円筒部41 に設けた3 本のカム 帯42 が撮影用主 レンズ50 の前配ガイドピン51をそれぞれ 鉄通せしめ、前配直進帯27 と共働して撮影用主レンズ50 の直適位置を規制する状態を形成している。また前配レンズ駆動部材40 はフランジ部46 に備えた歯車部分47を介してモータ60 のピニオン61により 図示位置から時計方向への回転とその復帰のための逆転が出来るようになっている。

30 は新記レンズ配動部材40の円筒部41に外紙するレンズ位置決め部材で、その増面には撮影用主

に配置されたモータ60による具体的な自動無点調節装置の構成とその作動を第4図によって説明すると次の通りである。

図は本英量を構成する各部材を光軸方向に展開して示したもので、これ等各部材はカメラの鏡屑部にユニットとして組込まれ、カメラ本体側に備えた電源と制御装置により駆動、制御されるものである。

10 は鏡網内に固定した電磁ユニットで、その内部には撮影光学系の曝光量を制御する第1 可動コイル部材(図示せず)と提送する保止部材を規制するための規制ピン11を植設した第2 可動コイル部材12とを光軸を中心として回動出来る状態で収容している。

20 は前記電磁ユニット10 の前面に取付けたレンズガイドでフランジ部21 と円筒部26 とから成り、フランジ部21 上には前述した制御装置にレンズ位置の情報を送るための検出用パターンをもったブリント板22 および引張ばね23 によって時計方向に付勢されるストップ爪24 を軸着して備えている。

レンズ50のガイドピン51を当接することにより放 撮影用主レンズ50を所定の無点位置に設定するた めの取カム31を前配ガイドピン51に対応した位置 に3個所設けている。前記レンズ位置決め部材3.0 と前記レンズ駆動部材40とはレンズ位置決め部材 30の突起3.2に取付けた押圧パネ3.3の先端が、レン ズ駆動部材40のフランジ部4.6に設けた V字状の切 欠48に係合することによって一体とされ、前配モ -960により同時に回転される状態となっている。

なお、この状態で前記レンズ駆動部材40のカム 溝42は、前配レンズ位置失め部材30の取カム31と ほぼ平行して配置され、かつ群カム42が規制して いる撮影用主レンズ50の前記ガイドピン51を前記 取カム31に抵触させない位置に値かに離間して設 けられているものとする。

また前記レンズ位置決め部材30の他方の突起34には、接片35が取付けられていて、前配レンズ駆動部材40の回転に従って、前記レンズガイド20のブリント板22上の断続した回路パターンを摺動することにより、前記制御装置にパルス信号を送る

特開昭61-133933(4)

ようになっており、また他の部分には該側御装健からの信号により作動する前記ストップ爪24を保合すべき爪曲3.6を形成している。

かかるレンズ駆動部材40とレンズ位置決め部材30とは、前配レンズガイド20のフランジ部21の前面と、数フランジ部21に3本の柱71を介して取付けられた押を板70の背面との間に挟持され回動自在に支持された状態とされている。

次にその作用と機能について説明する。

カメラのレリーズを操作する動作に連動して測 距装置が接写体距離を検出し、その情報を前配制 御装置に入力する。それと同時に安全のために先 ず前配第2 可動コイル部材12 に通電して前記規制 ピン11 に時計方向の回転トルクを与え、前記スト ップ爪24 が不用意に前記レンズ位置決め部材30の 爪曲36と係合していた場合、それを解除する作用 をする。

前記規制ピン11の作動に若干遅れて前記モータ 60 が始動し前記レンズ駆動部材40と前記レンズ位置決め部材30を同時に時計方向に回転させる。

プに当接し、眩境影用主レンズ50を測距装置の距離情報に対応した光軸上の位置に設定したのち所定の時間を経てモータ60が停止し回転を終える。

かくして被写体に対する撮影用主レンズ50の合 魚が行なわれ、続いて前記第1 可動コイル部材の 作動により鮮出を行なって撮影を終えるとその信 号によって前記第2 可動コイル部材12が再び起動 して前記規制ビン11 を時計方向に移動し、前記ストップ爪24を前記爪歯36との係合から外す。

次いでモータ60が逆回転を始め、先ず前記レンズ級動部材40を反時計方向に回転して撮影用主レンズ50を直線的に前進させたあと、その切欠48が前記レンズ位置決め部材30の押圧パネ33を保合する位置に達すると、該レンズ位置決め部材30を一体として共に反時計方向に回転して当初の状態に役給させた後、モータ60が停止して作用を終了す

なお、モータ60の逆回転に際して前配レンズ位 世決め部材30が押圧バネ33と切次48との係合によ る一体化の前に厚擦等によって従動回転すること それに伴い撮影用主レンズ50は直線的に後速し同時に前記接片35とブリント板22の摺動が始まって前記撮影用主レンズ50の位置に対応したパルス信号が制御装置に送られると、予め側距装置の距離情報に対応して設定されていた撮影用主レンズ50の基準位置と比較され、一致した場合前配モータ60の回転は一時停止して前記第2可動コイル部材12が遊転して前記規制ピン11を反時計方向に退避させる。従って前記ストップ爪24が爪歯36に係合して前記レンズ位置決め部材30の回転を強制的に停止させることとなる。

航記第2可動コイル部材12の作動に扱いてモータ60が再び回転を始め前配レンズ駆動部材40をさらに時計方向に回転するので、レンズ位置決め部材30に取付けた押圧パネ33は切欠48から外れ、レンズ駆動部材40だけが単独で回転を続けることとなる。

この レンズ 駆動部 材 40 の回転 により 前配 股 カ ム 31 より 藤間した位置に 保持されていた 規 影 用 主 レ ンズ5 0 の ガイ ドビン51 は 段 カ ム31 の 所定 の ステッ

があっても、その全回転角度は制限されているため前記レンズ最前部材40の復帰中には必ず保存して前途した状態に達した後停止されるようになる。 「発明の効果」

本発明により、モータの動力によって焦点調節 装置を駆動する動力伝達機構が簡単かつ効率的と なり、しかもカメラ本体のコンペクト化にも成果 のある自動焦点式の2 焦点カメラが実現すること となった。

4. 図面の簡単な説明

第1回は本発明の2無点カメラにおける可動 レンズユニットの斜視図。第2、第3図はその要 部断面図。第4図は前記2無点カメラに組込まれる焦点調節装置の1例を示す展開斜視図。

102 ……可動レンズユニット

102a …… スペース

1026...... デュドスペース

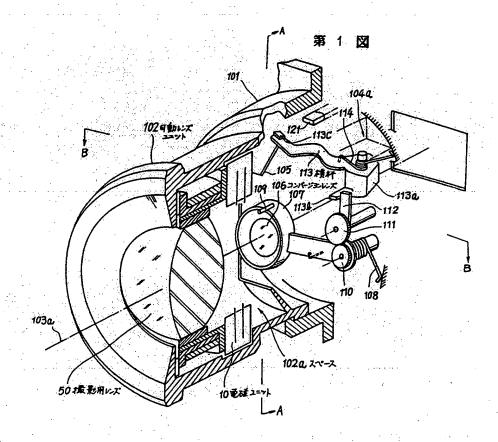
50 …… 撮影用主レンズ

103 a …… 光 軸

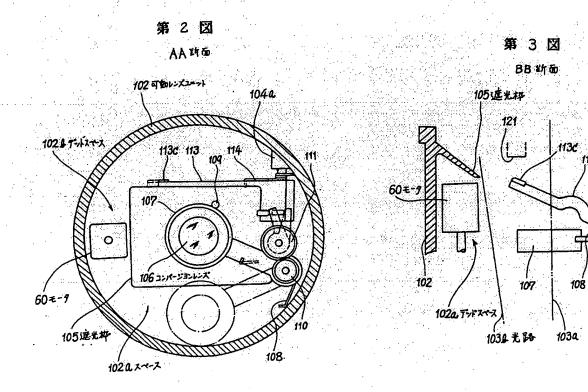
1036 …… 光路

105 …… 遠光枠 106 …… コンパージョンレンズ 107 …… 支持部材 :113 …… 積 杆 10 …… 電磁ニニット 60 …… モニタ

代理人 弁理士 野 田 義 親



1034 £34



第 4 図

